

令和5年度 津久井支援学校 第2回学校運営協議会 議事録

日 時	令和5年9月19日（火） 9時30分～11時30分
場 所	神奈川県立津久井支援学校 3階 会議室
出 席	学校運営協議会委員 9名 事務局 7名
問合せ先	副校長 藤原 英明 電話 042-684-4872（直通）
<p>1 校長挨拶</p> <p>前回の学校運営協議会でもたくさんのご意見をいただき、そうした意見を授業の中で、また学校運営の中で生かしながら日々取り組んでいるところです。今日も各グループより発表をさせていただきますが、忌憚のないご意見を頂戴し、今後に活かして参りたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>2 会長挨拶・委員自己紹介</p> <p>3 学校評価部会（中間アンケート）について 副校長より報告</p> <p>4 各グループ・係の取組状況について 総括教諭より報告</p> <p>5 協議</p> <p><b>中間アンケートについて</b></p> <p>[会長より]</p> <p>○保護者だけアンケートの実施時期をずらした理由をうかがいたい。</p> <p>[事務局より]</p> <p>○県より一人一台端末についての通知が来ており、保護者の負担を考慮して、それらと重ならないよう配慮し、今回は2週間ずらすこととした。</p> <p>[委員より]</p> <p>○生徒向けのアンケートの内容について、何か参考にしたものはあったのか。</p> <p>[事務局より]</p> <p>○読みやすくするようルビを振り、回答欄も選びやすく整えたが、基本的な質問項目は保護者や教職員と同じものである。</p> <p>[会長より]</p> <p>○生徒対象のアンケートについて、この項目で生徒たちは十分に答えることができたのか。</p>	

[事務局]

○アンケートを見たところ「できている」や「わからない」の割合が高かった。ただし、こちらの意図が理解できているかという点では、振り返りながら分析を進めていきたい。

[委員より]

○アンケートの表記に「地域とのつながり」の「地域」とは、奥畑地域をさしているのか。それとも津久井全体のようにもっと広い地域のことなのか。

[事務局より]

○内容にもよると思う。例えば、進路の取り組み等は、もっと広い地域をさすこともあるし授業の中の取り組みであれば、まずは学校周辺の奥畑地域を中心に考えている。

[会長より]

○小学校では、児童にアンケートをとる際に何か注意していることはあるのか。

[委員より]

○低学年、中学年、高学年と、児童の発達段階や理解度考慮しながら行っている。

#### 各グループ・係の取組状況について

[会長より]

○分析シートや授業シートを使っての取り組みが報告されたが、保護者の視点から見て何か変わったと感ずることはあったか。

[委員より]

○保護者参観の場でも説明いただいた。写真等での説明も受けわかりやすいと感じている。

[会長より]

○研究の取り組みについて、全体の共有を近日中に行うという認識でよいか。

[事務局より]

○これまで、それぞれの学部ごとに取り組んできたので、その経過を明日の中間報告を全校で共有する予定である。

[会長より]

○防災の取組についてはどうか。

[委員より]

○地域から学校の防災教育の折に参加しているが、地域の高齢化も進んでおり、奥畑地区に限定するのではなく、地域の範囲を広げていくことも必要ではないか。

○災害時に一番困ることはトイレ問題ではないか。学校ではベッドや居住スペースの組み立て等の取り組みに力を入れているようだがトイレについてはどのように考えているか。

[事務局より]

○本校で行っている防災研修では、毎年、複数の内容をローテーションして行っているが簡易トイレのことについては入っていないため、今後は含めていくことを検討していく。

[委員より]

○この地区でも、簡易トイレを準備している家庭もあるが、実際に使用後の処分をどうすればよいかといった悩みもある。

[会長より]

○体調不良や怪我等の緊急時の対応について、参加者それぞれはどんな対応をしているか。

[委員より]

○施設においてもマニュアルを作り、それに基づいて訓練を実施している。

[委員より]

○消防署に来ていただき、AED研修を行う取り組みを進めている。本日、ご紹介いただいた「アクションカード」は是非参考にしていきたい。使い続けることで、ブラッシュアップを図っていきたい。

[会長より]

○アクションカードは、全ての教室に配置されているのか。

[事務局より]

○今のところ、それぞれのフロアに3か所程度配置している。

[委員より]

○アクションカードの中に記述されている「勇気を出す」という言葉がとても良い。実際の現場で何より必要とされることではないか。

[委員より]

○学校では実際に救急救命の資格を取得している職員はいるのか。

[校長より]

○AED研修については、毎年全職員で行っている。アクションカードについては、訓練を繰り返す中で、記載内容の改善を図っている。

[委員より]

○有資格者を養成する「すこやかサービス」というものがある。施設担当者の中にも有資格者を増やしていこうという動きがあるので参考にしていきたい。

[会長より]

○ICTの活用についてはどうか。

[委員より]

○教員が活用することはだいぶ定着しているが、それぞれのアプリを教員自身が活用し、その上で児童・生徒に教えられるような流れを作っていきたい。

[会長より]

○「つながりつながれフェスタ」についてももう少し話を聞かせて欲しい。

[事務局より]

○コロナの影響で実施できずにいたが、今年度再開に至った。これまでの形を少し変形させている。地域の団体の発表の場を提供し、一緒に楽しく取り組むことを主軸に実施した。

[会長より]

○学校からも何か発表をしたのか。

[事務局より]

○連携支援グループの職員を中心にダンスを発表した。

[会長より]

○中央区にある施設も参加しているようだが、地域を大きくとらえて色々な方に参加してただけたということなのか。

[事務局より]

○そのように認識している。

6 進路相談の取組「地域とつながる進路指導」について  
進路担当より報告

7 防災部会・切れ目ない支援部会について  
担当の総括教諭よりそれぞれ報告

8 協議

「地域とつながる進路指導」について

[委員より]

○説明の中で「就労」という言葉が遣われたが、企業等への一般就労をさしているのか。

[事務局より]

○特例子会社等も含めた企業就労をさしている。

[委員より]

○福祉施設でも、その方に合った仕事に取り組んでいる。福祉的な就労という言い方もあるが、こうした取組も是非、就労に加えて欲しいし「就労」の概念を考え直して欲しい。

[会長より]

○今回の「就労」として出されたテーマは、県から出されたものか。

[事務局より]

○2月に出された集計結果をもとに、本校の進路状況と重ねて提示させていただいた。

[委員より]

○各福祉施設の違いについて、職員はどの程度理解しているのか知りたい。今回は「自立訓練」が話題にならなかったが、そのあたりはどうか。

[事務局より]

○市内の緑区には、自立訓練の施設自体が無く、選択肢に無い家庭が多い。保護者との面談では、状況に応じて情報提供を行い、見学を勧めていきたい。

[会長より]

○進路は学びの積み重ねであると考えるが、保護者の立場ではどのように感じているか。

[委員より]

○前期の実習での課題を生かし、後期は時間の管理や仕事内容の面でもより本人に合った場所で実習をさせたい。卒業後に本人が楽しんで通えるようにさせたい。

[会長より]

○障害のある人を雇う時に会社から「障害のある人を雇用するノウハウがわからない」ので教えて欲しいと言われたことはあるか。

[事務局より]

○例えば、建設業の方からは危険が多く、なかなか雇い入れることは難しいと言われた時に「こういった仕事なら取り組めると思う」と伝え、イメージできるように努めている。

[会長より]

○実際に話をして関わりを持つことで見えてくるものもある。学校に来ていただいて、生徒たちの活動の様子を見ていただくことも有効なのではないか。

#### 防災部会・切れ目ない支援部会について

[会長より]

○前半の話で出ていた「防災研究会」とは自治会の活動として取り組んでいるものか。

[委員より]

○参加希望を募って開始したが、参加者が3人で固定化されてしまった。現在は活動を休止している。

○マニュアル等は字の小さい物が多く、高齢になると読みづらい。その点、「アクションカードは」字も大きくページ数もまとまっているため、地域でも作成してみたい。

[会長より]

○ブルーベリー畑の取り組みの報告があつたが、実際にはどれくらいの本数があるのか。

[事務局より]

○おそらく100本ほどの木があると思う。その中から10本を選ばせていただいた。

[会長より]

○10本と言わず、畑の全部を学校農園にしてみたいか。

[事務局より]

○管理的な側面から考えると、かなり難しい。ただ、今後、収穫したブルーベリーでジャム作りを行うといった構想もあり、管理する本数については検討していきたい。

[校長より]

○10本を本校で管理するという話を聞いた時には、消極的とも感じたが、職員数の少なさと年間を通した様々な手入れを考慮すると、実際には難しいことだと感じている。

[委員より]

○今回の取り組みはとても良いと感じた。自分の施設も参入して、一緒にやらせていただきたい。

[会長より]

○学校だけでなく地域のつながりを生かして取り組んでいけるのが良い。

[委員より]

○この地域では、ブルーベリー以外にも様々な作物を育てている。活動の幅を広げたいということであれば、相談して欲しい。

[事務局より]

○ブルーベリー以外にも、地域にある福祉施設と協働した取組を活性化させたい。例えば生徒と一緒に地域清掃を行ってはどうかという意見がある。これから具体的に話を詰めていけたらと考えるので相談にのっていただきたい。

[会長より]

○地域とのつながりを生かしながら取り組んでいってほしい。

## 9 校長あいさつ

地域のつながりといった話題では、前回の協議会で報告した相模湖の花植えに関して、奥畑自治会にも協力いただき、有意義な学習活動になったと感じています。地域の方々の距離感の近さを実感しており、大変感謝しております。今後も奥畑はもちろん、相模湖や津久井といった広い地域の方々とのつながりを大切にしながら教育活動を進めて参りたいと思います。本日はありがとうございました。

### 【配付資料】

- ・令和5年度 第2回学校運営協議会 開催要項
- ・令和5年度 学校運営協議会委員名簿
- ・令和5年度 津久井支援学校 学校評価報告（目標設定）
- ・グループ係の目標・達成状況・今後
- ・各部会の取組
- ・つくいだより（NO. 3、NO. 4、NO. 5）
- ・令和5年度学校要覧



